

バイオオーグメンテーションによる浄化例

- ◆バイオオーグメンテーションは、油汚染サイトに分解効率の良い微生物自体を投入し浄化する方法で、従来工法と比較し浄化期間の短縮が可能。(1~3ヶ月で分解)
- ◆微生物製剤は公的な利用指針にもとづく適合性(安全性)認証済みのものを使用します。(バイオ・ジェネシス製)
- ◆投入方法は地上で混合する方法(ランドファーミング)と、地中に注入する方法があり、汚染サイトの状況により使い分けます。

土壌混合状況



微生物製剤等の混合



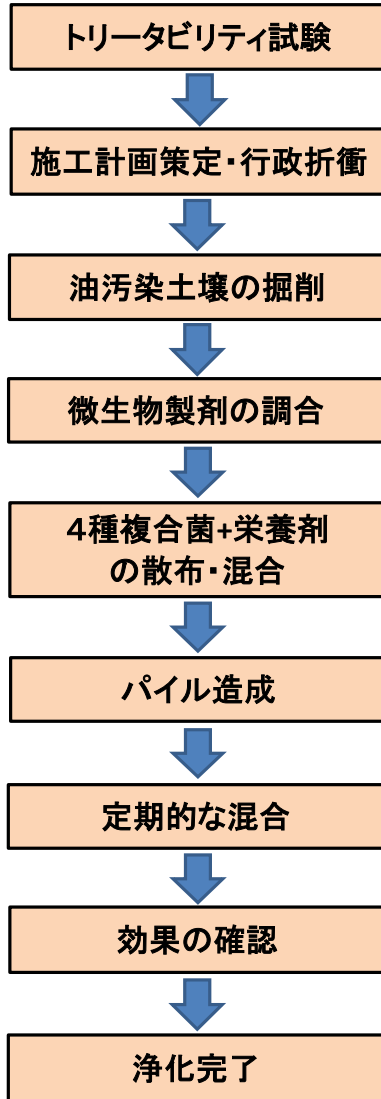
微生物製剤(バクリン)



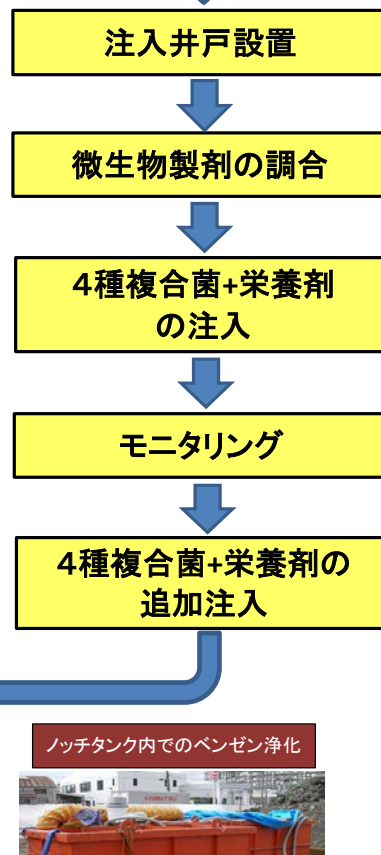
- ◆バクリンHCプレミアムはアメリカで開発・実用化された4種混合菌を含む微生物製剤。
- ◆各種鉱物油及びベンゼン汚染土壌を効果的に分解、浄化。
- ◆2011年に経済産業省と環境省の合同の適合確認を取得した安全性の高い製剤。

現場条件に最も適した低コストな対策工法を提案します

ランドファーミングの場合



注入の場合



ナッチタンク内でのベンゼン浄化

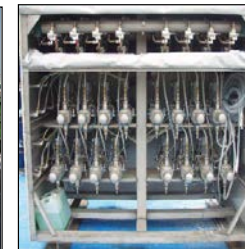


大量の製剤等を同時加圧注入する場合の例

微生物製剤+栄養剤混合装置



多地点同時注入ポンプ



地下水浄化の事例



油吸着材、油洗浄剤の併用によりより効果的な処理を行うことが可能。

油吸着材: オイルスポンジ



油洗浄剤: 油とリクリーナー



複数企業とのアライアンスによりグローバルな対応が可能